



氏名	澤田 翔
所属	経済学部 経済学科
学年	1年
留学先	ビクトリア大学 ME
留学期間	2026/03/02~2026/03/27

留学レポート Study Abroad Report

〇はじめに

自分がこの留学を通じて感じたこと、思ったことを正直に書いていこうと思っています。これから留学に行く人、あるいは、留学に行こうか迷っている人にとって少しでも参考になったら嬉しいです。自分がこの留学に参加しようと思ったきっかけは、自分の英語のレベルを上げたかったのと、海外で生活してみたいと思ったからです。もちろん、1か月という短い期間ではあるので、自分の英語力が飛躍的に向上するとは思っていませんでしたが、間違いなくこの留学を通じて自分の英語力は上がりました。

〇授業

カナダに到着した翌日から早速オリエンテーションとテストがあり、そのテストをもとにクラス分けがされました。クラスはレベル1からレベル5まであり、自分と同じような英語の能力をもった人がクラスメイトになるのでとても勉強がしやすかったです。自分のクラスは13人で、そのうち11人が日本人で残りの2人が韓国人でした。授業は朝9時から15時までであり、お昼休憩と午前、午後の授業の中にそれぞれ1回ずつ休憩がありました。授業はスピーキングとリスニングをメインに行い、ミニゲームやディスカッションを通してクラスメイトとたくさん英語を話しました。また、クラスの人数が少ないので質問もしやすく、また先生も発音や文法の誤りをその場ですぐに教えてくれてよかったです。ただ1つ課題を指摘するのならば、日本人が多すぎることです。このプログラムの参加者のほとんどが日本人なので、先生を除いて授業中に日本人以外の人と話す機会がほぼなかったです。そのため、自分はボランティアスタッフの人と話すことができるところに行き一緒に昼ご飯を食べたり、街の中で現地の人と積極的に会話をするようにしていました。カナダにいたので、少し工夫をして積極的に自分から動けばたくさんネイティブスピーカーと英語を話す機会をつくることができると思います。

〇生活

ホームステイはホストファミリーによって食事の内容や、シャワー、洗濯などのルールが異なり、本当に千差万別なのですが、自分のホストファミリーは昼ごはんと夜ごはんを作ってくれて、シャワーと洗濯もいつでもやる事が出来ました。しかし、これは珍しいほうだと思います。友達のほとんどはシャワーと洗濯の時間が決められているようでした。ビクトリアは日本より少し寒い程度で雪も無く、とても過ごしやすかったです。治安に関しては、ダウンタウンの一部地域を除いてそこまで悪くなく、生活がしやすかったです。はじめて海外に行くような人でも安心して過ごすことができると思います。しかし、物価に関しては日本よりも圧倒的に高いです。

○授業外での活動

授業後や休日に友達と一緒にいろいろなところに出かけました。最もよく遊びに行ったのがダウタウンです。ダウタウンには州議事堂（1番上の写真）やインナーハーバー（写真①）があり、街並みがきれいで歩いているだけでもとても楽しかったです。また、ダウタウンにある本屋さん（写真②）には日本の本よりもカラフルで様々なデザインの本があり、とてもおしゃれでどんな本だろうと想像しながら見ていると楽しかったです。カナダは物価が高く、外食すると必ず日本よりも高くなってしまいます。そんなカナダで安くて、おいしいごはんが食べれるのが、「timhortons」です。カナダ国内ではマクドナルドよりも店舗数が多く、お手頃な価格でドーナツやコーヒー、サンドイッチなどを食べることができるファストフード店です。特におすすめなのが「timbits（写真③）」です。一口サイズよりちょっと大きいくらいの大きさのドーナツで、いろいろな味があっておいしいです。そして、大学のアディショナルコストツアーというのがあり、追加のお金を払うことでバンクーバーまで行くことができました。バンクーバーはビクトリアよりも都会で（写真④）、ビクトリアとはまた違った良さがありました。（個人的には住むとしたら、ビクトリアよりもバンクーバーのほうがいい）そして、ビクトリアでも、バンクーバーでも現地の人はとても親切で、おすすめのお店を聞いたらとても丁寧に教えてくれました。例えば、フィッシュアンドチップスのお店で並んでいたときには、列の自分の前にいた人と会話が始まり、そのお店のおすすめまで教えてくれました。カナダの人はとてもフレンドリーで親切なので勇気を出して話しかけてみることをおすすめします。

○まとめ

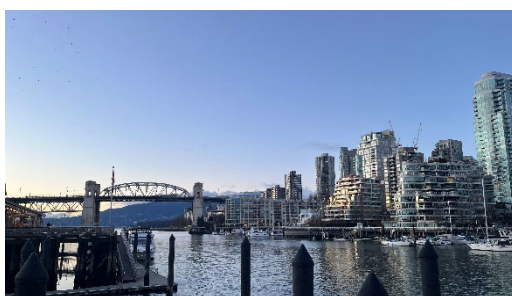
英語を喋ることが当たり前な環境で1か月生活したことによって、英語を喋ることに対する抵抗感がなくなりました。この1か月で自分の英語が飛躍的に成長したということはありませんでしたが、今後の英語学習の方向性を決めるよいきっかけになったと思います。帰国後も英語の勉強を続け、英語に触れ続けていたいと思っています。また、留学前から長期留学への意欲がありましたがこの留学を経て、さらにその思いが強くなりました。もちろん英語だけではなく、カナダでの生活によって日本とカナダの文化や価値観の様々な違いにも気づきました。この気づきはどちらの文化、価値観が優れているかということではなく、新たな文化、価値観を知り自分の世界を広げることになりました。人によって異なると思いますが、自分にとっては今まで知らなかった新たな文化、価値観に触れることはとても楽しいです。この留学は新しい発見の連続で、とても刺激的で楽しかったです。みなさんもぜひ、新しい価値観や文化に触れて自分の世界を広げていってください！



↑写真① インナーハーバー



↑写真③ timhortons の timbits



写真④→
バンクーバーのビル群



↑写真② 本屋さん